



クリエートメディック株式会社

2022年度 第2四半期の 決算概要と今後の経営戦略

国内市場

- ・新型コロナウイルスの感染拡大
 - ワクチン接種や治療薬により社会活動は正常化
 - 足元の状況は変異株により感染急拡大
 - 今後の医療のひっ迫が見込まれる
- 国内市場は先行き不透明な状況

海外市場

- ・中国
 - 上海市ロックダウンは経済活動や物流停滞
 - サプライチェーンは深刻
- ・ウクライナ情勢
 - 資源価格の高騰、急激な円安推移
 - 世界経済に重大な影響

営業成績



(百万円)

	前年同期	計 画	実 績	前年 同期比	計画比
売上高	5,479	5,647	6,029	+10.0%	+6.8%
営業利益	487	375	333	△31.5%	△11.2%
経常利益	540	385	523	△3.3%	+35.9%
四半期純利益	408	241	311	△23.8%	+28.7%

◆連結対象会社

・大連クリエート、クリエート国際貿易(大連)、ベトナムクリエート、九州クリエート

売上高(販売形態別)



(百万円)

自社販売		
		前年同期比
泌尿器系	1,781	(+19.5%)
消化器系	1,059	(△7.0%)
その他	573	(△0.5%)
合計	3,414	(+6.5%)

海外販売 1,966百万円
(前年同期比 +18.9%)

- ・中国 : 1,504百万円(+22.0%)
- ・輸出 : 434百万円(+15.2%)
- ・その他 : 27百万円(△37.2%)

OEM販売 648百万円
(前年同期比 +4.7%)

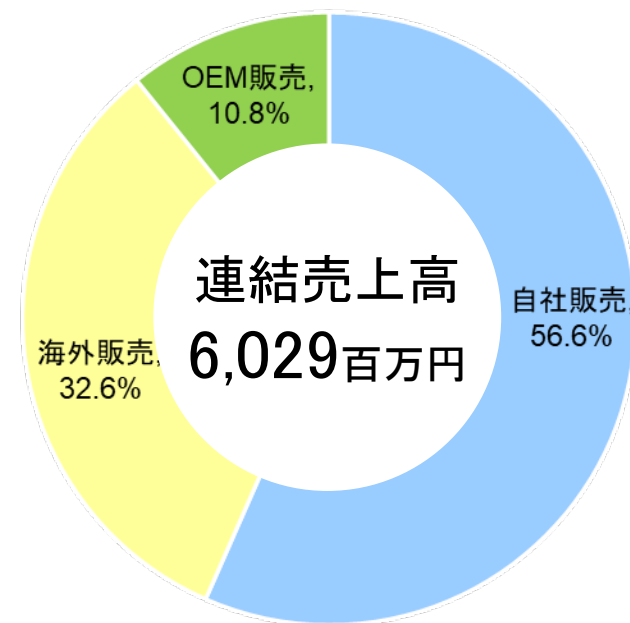
- ・血管系 : 347百万円(+3.9%)
- ・看護検査 : 240百万円(+1.2%)
- ・その他 : 60百万円(+27.6%)

売上高

(百万円)

	前年同期	実績	前年同期比
自社販売	3,205	3,414	+6.5%
海外販売	1,654	1,996	+18.9%
OEM販売	619	648	+4.7%
合計	5,479	6,029	+10.0%

販売形態別 構成比



販売費・一般管理費



(百万円)

	前年同期	実績	前期 同期比
人件費	1,287	1,393	+106
経費	736	891	+154
販管費	2,023	2,284	+260

- 人件費
 - + グループ各社の定期昇給
 - + 大連クリエートの計上変更
 - + 急激な円安による為替影響
- 経費
 - + 情報関連投資の償却費
 - + 物流コストの増加
 - + 研究開発費の増加

営業利益



<前年同期比の変動要因>

(百万円)

前年同期 : 487

売上高の増加

+126

収益認識基準適用の増加

+56

輸入運賃増加の影響

△29

原材料価格高騰の影響

△24

為替変動の影響

△19

販売費・一般管理費の増加

△260

当期 : 333

経常利益・純利益



(百万円)

	前年同期	実績	前年同期比
売上高	5,479	6,029	+549
営業利益	487	333	△153
営業外収益	61	194	+133
営業外費用	7	5	△2
経常利益	540	523	△17
特別利益	35	19	△15
特別損失	—	—	—
法人税等	167	231	+64
四半期純利益	408	311	△97

- 営業外収益
 - ・為替差益 160M
 - ・受取利息など 34M
- 営業外費用
 - ・支払利息など 5M
- 特別利益
 - ・補助金収入 14M
 - ・固定資産売却益 4M

設備投資・研究開発費

設備投資

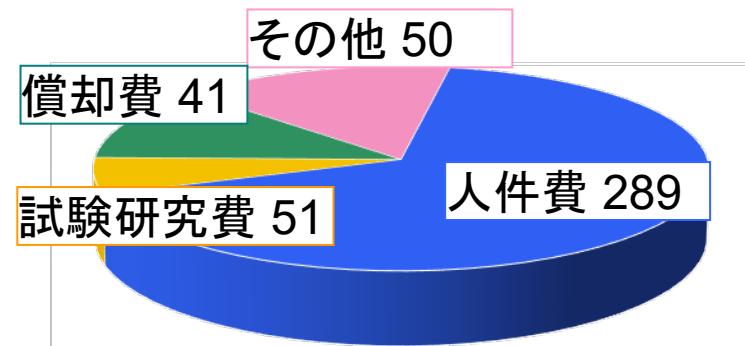
設備投資：88百万円

(主な内容)

- ・日本国内
情報関連投資 32M
- ・大連工場
金型・生産設備など 40M

研究開発費

研究開発費：433百万円



通期業績予想 (2022/12)



(百万円)

	前期	次期予想	前期比
売上高	11,698	11,802	+0.9%
- 自社販売	6,884	7,000	+1.7%
- 海外販売	3,493	3,493	+0.0%
- OEM販売	1,320	1,308	△1.0%
営業利益	866	881	+1.6%
経常利益	1,009	900	△10.9%
当期純利益	660	638	△3.4%

[想定レート USD = 113.5円]

配当政策



	第2四半期末 (円 銭)	期 末 (円 銭)	合 計 (円 銭)
2021/12期	17.00	20.00	37.00
2022/12期 (予想)	17.00	20.00 (予想)	37.00 (予想)

【将来予測に関する注意事項】

当資料には業績予想並びにその他の将来予測が含まれておりますが、これらは現時点での見通しに基づくものであり、予期せぬ事象の発生若しくは経営環境の変化により実際の業績と異なる可能性があります。

2022年8月4日